

# 分苑たより

## なごみ

大本  
名古屋分苑

### 分苑長

#### 葉月 月次祭挨拶

サルートン皆様こんにちは  
キーエルヴィーファルタスご  
機嫌いかがでしょうか。

葉月月次祭に、大勢の方達  
が、ご参拝して頂き誠にあり  
がとうございます。

八月聖地では、真夏の祭典  
瑞生大祭に平日にも関わらず  
たくさんの方参拝者が見えに  
なりました。

昨年は、六百三十六人で今  
年は七百三十一人と、昨年の  
コロナ禍より百人ほど増えて  
おります。

また直心会の方達には、バ  
ザーに携わって頂きありがと  
うございました。一部の方は  
他の出店にも協力され地域の  
区別なく、楽しい雰囲気です  
た。

八月に入り台風六号で九州、  
特に沖縄奄美大島等に相当な  
被害が発生しました。台風七

号では幸いにも東海地方では  
大きな被害が無かったと東海  
教区防災担当者からの報告が  
本部にありました。

私は、十四日より亀岡で大  
道場修行を受講しており、十  
五日から強風と雨で朝拝の時  
には傘が飛ばされる勢いでし  
た。

翌朝、高熊山・瑞泉苑参拝  
では、高熊山で車を降り暫く  
すると小枝とか木がかなり倒  
れており、その下を潜り抜け  
て、手水場所からは小枝の散  
乱だけでなんとか息切れしな  
がらも、岩窟前に辿り着くこ  
とが出来ました。

今回の大道場修行での綾部  
で最後の講義、みたままつり  
では以前お願い事は大神様へ  
だけで、祖霊さまへは霊界で、  
より一層向上するように祈り  
なさいと言われたことが、い  
つの間にか祖霊様をお願いす  
るようになっていたことに改

めて気づかされました。  
両聖地とも台風の大きな被  
害はありませんでした。

今後の本部また名古屋分苑  
での行事としては、今月の二  
十一日から二十七日迄は綾の  
聖地で神集祭が執行されます。

二十六日・二十七日は三河  
本苑の新しいご神殿で講師出  
口飛鳥様をお迎えし、葬祭研  
修会が行われます。参加され  
る方は今日中に申込をお願い  
致します。

九月に入れば、二日の月始  
祭は女性祭員で行われます。  
十一日に全国一斉世界平和祈  
願、十七日の月次祭には長寿  
感謝祭、翌十八日には、三重  
香良洲神の中遷座祭典が夜二  
十時から執行され教主様をご  
臨席されます。教主様は十九  
時半に御到着され最後まで祭  
典に参列されます。

祭典は、お香良洲神社の方  
達で行われ、どの位時間が要  
すのか分かりません。祭典の  
途中で帰宅されても良いとの  
事です。

二十三日・二十四日は名古

屋分苑で祭式講習会と葬祭研  
修会を併せて行います。今回  
の講師は出口拓生様に決まり  
ましたが、この日は三代様の  
毎年祭(三十三回)が執行さ  
れるため、到着は午後三時頃  
の予定です。小学生・中学生  
の方も、祭式講習に参加して  
頂けたらと思います。

足・膝の悪い方は椅子に座  
つての祭式は既に本部でも実  
施されていますので遠慮なく  
参加して頂きたいと思えます。

本日の参拝誠にありがとうございました。  
コーランダン  
コン

### 行事報告

#### ●月始祭

八月五日(土)

参拝者 二十一名

齋主 見田すみ子  
祭員 畠山 茂  
進行 影近 博己



●月次祭  
八月二十日(日)  
参拝者三十六名

齋主 瓜生 秀明  
祭員 妹尾 正治  
祭員 小林 清人  
祭員 畠山 茂  
裏方 伊藤久仁男  
典礼 鈴木 克彦  
伶人 飯田 直美  
進行 中村 幸夫



●瑞生大祭献金バザー

報告とお礼

皆さまにご協力頂きました献金バザーですが、分苑と瑞生大祭にて開催させて頂きました。昨年度に引き続き十七万九百三十三円という大きな献金をさせて頂くことが出来ました。

皆さまのご協力に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

直心会長 堀 和子

●葬祭研修会

八月二十六日(土)二十七日(日)と三河本苑で葬祭研修会に飯田和彦さん・畠山茂さんと共に、三名で参加させて頂きました。

参加者は三河本苑・三重主会・名古屋分苑と三機関で十七名が研鑽に励まれました。

講師の出口飛鳥様が昼前に到着されるので、先に開会式を終えて葬祭の準備を全員で、手分けして行っている時に、講師の出口先生がお見えになりました。



昼食を終え午後からは、葬祭の実技、招魂式を行いました。祝詞を読んだ方も読み方が、天晴礼(あはれ)をあれと読んだり、白す(もうす)を新霊様にまをす、と読んだり、祝詞の開方など色々注意される方もみえました。

また、誄詞作成では、文例をパソコンで分り易く指導をしていただきました。

懇親会では、和気あいあいとした意見交換ができました。

翌日は、五十日合祀祭・家祭と行い、最後は全員で片付けをして二日間の葬祭研修会を終了しました。

高嶋 善雄 報告

行事予定

九月十一日(月)

全国一斉世界平和祈願

九月十七日(日)

月次祭・長寿感謝祭

午前十時半より

九月二十三・二十四日(土日)

祭式講習会・葬祭研修会

十月七日(土)

月始祭 午後一時半より



言葉の力 号外の②

特任宣伝使 妹尾 正治

小生、七十四歳になって夫婦の「のろけ話」を書くのは恥ずかしい限りだが、誰かの参考になれば幸いと腹をくくり吐露します。

二十七歳の時、私は妻への一方的な惚れ込みで結婚に至りました。

結婚当初の現実、生活に追われ仕事に追われ、育児や家事は奥さんに任せっきりで、信仰生活はパーセント位でした。

今でも思い出すのは、小学校の卒業文集で将来なりたい職業は？の欄に『立派なお父さんになること』と書いたことです。

『立派なお父さん』は別にして、三人の娘も嫁ぎ、孫九人に恵まれ、仕事も退職して気が付いたら夫婦二人だけの生活が二十年になろうとしています。

信仰生活の割合が増えて来たのは、二十三年前、母親が大本津島支部長を退いて私が後を継いだ時からです。

結婚以来、面と向かって大本信仰について語り合ったことは無く、支部を引き受ける時、しぶしぶ了解を得たのが初めてでした。

結婚四十七年の今年、妻がこんな言葉を告げてくれました。

『お父さんと結婚出来て良かった、お父さんが信仰をしている人で良かった・・・』

再度小学校の卒業文集を思い出し、目標の半分は達成できたと思いつつ、残りの半分が達成できるように、これからも仲の良い夫婦で有り続けようと思う。

マザーテレサの金言

『平和はほほえみから始まる』